

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏名	CHEN HUI WEN
審査委員	主査 鹿児島大学 教授 大和 修
	副査 鹿児島大学 教授 白石 光也
	副査 鹿児島大学 教授 小原 恭子
	副査 鹿児島大学 教授 矢吹 映
	副査 山口大学 教授 谷 健二
実施年月日	2023年 1月 17日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。)	
<input checked="" type="radio"/> 口答 <input type="radio"/> 筆答	
<p>最終試験として、申請者は主査と副査の前で、適切な口頭発表を行った。</p> <p>申請者の発表は、発表時間やスライドの枚数は適度であり、全体的な構成も十分に吟味されていた。研究の背景と目的は明瞭で理解しやすかった。材料と方法はわかりやすく簡潔であった。結果と考察は過不足なく的確にまとめられており理解しやすいものであった。発表では、非常に聞き取りやすい英語でスライドに示す内容を、分かり易く過不足なく説明した。発表態度も落ち着いており、発表の速さも適切であり、既定の時間を厳守した発表であった。</p> <p>質疑応答では、審査委員からいくつかの質問があったが、申請者は質問の意味を正しく理解しており、その応答も適切であった。特に英語での質疑に当たり、質問内容を確認することで、時間を厳守した適切な返答が可能であった。申請者の研究では、新しい腫瘍バイオマーカー候補を示したが、質疑では、より実用的な追従研究の必要性も的確に説明した。今後の課題なども掌握しており、文献的な考察も含め科学者としての適切な洞察を持っていることが示された。よって、審査委員一同は、申請者が研究の内容を十分に理解していると判断した。</p> <p>申請者は研究倫理についても十分に理解し、それを遵守していることも確認され、審査員一同は申請者の研究倫理についても審査の上、問題が無いことを確認した。</p> <p>以上により、申請者は鹿児島大学大学院共同獣医学研究科博士課程修了者としての学力及び識見を有すると認め、博士(獣医学)の学位を受けるに十分な資質を有していると判断された。したがって、審査員全員一致で本試験を合格と判定した。</p>	